

# 成人式



【写真】昨年の成人式より



## 能登町議会第4回定例会

12月8日に招集されました。会期を16日までの9日間と定め、平成23年度一般会計補正予算や条例改正など町長提出議案34件が上程されました。

持木町長が提案理由を述べたあと、8人が議案について質問しました。その後、議案は各常任委員会に付託されました。

最終日には、継続審査となっていた平成22年度決算14件を認定。議案34件を原案のとおり可決しました。また、議員定数を14人に削減する議会議案1件を賛成多数で可決しました。

### ■可決された議案

一般会計補正予算(第3号)▼歳入歳出それぞれ6億6656万6千円を追加し、総額を15

8億4248万1千円とする。主な内容は、災害防除事業費、災害復旧費、柳田地区防災行政告知施設整備事業の追加など

3号)▼116万9千円を追加。能登町議会の議決すべき事件を定める条例の制定について

め、該当施設を追加。能登町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について▼4階、5階病棟の個室に3床ずつトイレを設置し、使用料を改正

石川県町村議会議員公務災害補償組合規約の変更について▼野々市町が野々市市になったことによる改正

有線放送特別会計補正予算(第2号)▼1億4649万9千円を減額

能登町情報ネットワークセンタールールの一部を改正する条例について▼放送法改正による変更とインターネット接続料の全期前納制度を新設

能登町水道事業給水条例の一部を改正する条例について▼給水区域の一部を柳田地区簡易水道事業の給水区域に変更

石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更について▼同奥能登広域圏事務組合規約の変更について▼消防無線のデジタル化に伴う改正など

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)▼835万3千円を減額

公の施設の指定管理者の指定について(11件)

施設の名称	指定管理者	指定期間
能登七見健康福祉の郷「なごみ」など2件	(株)能登町ふれあい公社	H24/4/1～H27/3/31
老人憩いの家「たなぎ荘」など5件	(社)能登町社会福祉協議会	H24/4/1～H29/3/31
藤波ディサービスセンターなど2件	(社)石川県社会福祉事業団	H24/4/1～H29/3/31
みずほ障害者支援センター	特定非営利活動法人 礎会	H24/4/1～H29/3/31
郷土館、町立美術館、内浦体育館、能都健民テニスコート、能都体育館、柳田体育館など22件	(株)能登町ふれあい公社	H24/4/1～H29/3/31
能登町特産物等直売所(桜峠直売所)	グループさくら日和	H24/4/1～H27/3/31
能登海洋深層水施設など2件	(株)能登町ふれあい公社	H24/4/1～H27/3/31
能都共同福祉会館	能登町商工会	H24/4/1～H29/3/31
国民宿舎能登うしつ荘など4件	(株)能登町ふれあい公社	H24/4/1～H26/3/31
遠島山公園など2件	(株)能登町ふれあい公社	H24/4/1～H29/3/31
九十九湾園地管理事務所など3件	能登町観光協会	H24/4/1～H27/3/31

## 二十歳

の門出を祝う能登町成人式が次の日程で開催されます。

〔日時〕平成24年1月8日(日)午前11時～(受付10時30分)〔場所〕内浦第2体育館〔対象者〕平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの能登町内中学校卒業生および能登町在住者男・114人 女・104人 計218人 ※広報紙への掲載は希望者のみ

### 鶺鴒中学校

浅田純恵 井田由美 川端めぐみ(旧姓:石田) 岩端大介 上端達也 木村彩乃 越坂志帆美 小杉莉加 酒井真由子 坂下昌博 新谷 恵 善野智栄 高 夏美 高田あかり 鶴野薫子 天幸由稀 道地亮太 堂野貴寛 中田綾香 中野貴仁 濱中美紀 道下直人 森下 大 安田万梨亜

石崎ひかり 石場由恵 奥成加葉 奥成沙紀 桂 唯 川端健太 金剛裕樹 坂 重幸 坂下有仁 竹中俊介 中町歩美 萩野一志 波瀬なつみ 畑口将吾 坂東志穂 坂東千紗 廣瀬久華緑 廣瀬 学 廣瀬勇将 船本梨沙 真智貴大 餅木 葵 持平理佳子 山市ひとみ

### 能都中学校

表 千鶴 菊田智子 金七翔吾 桑田佳明 坂上大将 坂口翔太 清水仁美 白坂竜也 菅原大聖 菅原大慈 高川勇貴 橋 颯太郎 田中裕仁 谷上 颯 田中智美 中谷尚貴 谷口智美 新田恭兵 中谷百花 新田悠紀 橋本武蔵 福田悠紀 橋本行弘 岩本由衣 岩本紗緒里 岩本由衣 岩本尚史 梅澤匡男 大間宏樹 岡野正人 奥 亜紗日 尾谷弥海 河村聡太 河元翔司 川本翔太郎 川本悠雅 國分ゆう穂 蔵 理恵子 小島敬史 小谷内良華 佐藤千華 佐藤 亮 四家匡博 脊戸瑞輝

石脇知奈 井上 涉 青山早紀 石脇知奈 井上亮太 井上 涉 青木友里恵 雨池聡美 上田 寛 打合志菜 垣内寿裕 金小香織 上谷祥紘 川口一樹 北又 亮 駒寄有紀 岨 大樹 坂下香菜 大古友美子 滝平弘志 武藤恵理子 谷田智子 田原 梓 堂坂百子

### 柳田中学校

空林泰代 高田明香 白尾保奈美(旧姓:時長) 嶋越 翔 中田祐希 蛸島美保 長坂梨恵 中谷友里子 中村朋美 中田祐貴 中谷美咲 夏目李貴 二山春菜 中野 亮 中村啓治 橋爪ゆり 畑中由衣子 西 寿野 西山卓哉 平 成美 藤田 葵 橋本佳周 濱中 統 干場 剛 細畑望美 廣田直也 紅屋来美 松木佑祥 宮本俊一 本藏敦美 前田貴智 中野 奈津美(旧姓:源)

### 町在住者

アデ タムト アンギー アガシ シヤイフル ミラー シヤムス ズハ ジュプリホノ ラハルジヨ ダニ トリヨノ トノ アルフルコン ヘリ ヘルサ メジュール ウイヤ ラムドン スチプト デディ フェリ ワーラニ



# 春蘭の里実行委員会に内閣総理大臣賞など受賞ラッシュ!



第50回農林水産祭表彰(むらづくり部門)

**内閣総理大臣賞**

第33回豊かなむらづくり表彰

**農林水産大臣賞**

地域づくり表彰(国土交通省)

**国土交通大臣賞**

石川地域づくり表彰(個人部門)

**多田喜一郎さん**



内閣総理大臣賞の盾

11月28日、春蘭の里実行委員会のメンバー4人が能都庁舎を訪れ、持木町長に受賞報告を行いました。能登の里山を象徴する景観の中で、農家民宿群でのグリーンツーリズム、きのこの山の整備など地域づくりを展開する春蘭の里実行委員会。今回、県内初の快挙となる「農林水産祭表彰・内閣総理大臣賞」など3つの大臣賞を受賞したほか、多田喜一郎さんが「石川地域づくり表彰(個人部門)」に選ばれるなど受賞ラッシュとなりました。

中本安昭会長(写真左から二人目)は「支援してくれる皆さんに感謝し、これからも賞に恥じない春蘭の里づくりに取り組んでいきたい」と語り、多田さんは(写真右)は、「今後は耕作放棄地の解消など景観保全にも努めていきたい」と意気込みを話しました。



受賞の喜びを語る安宅さん(12月19日、自宅で)

民生委員・児童委員

**厚生労働大臣表彰**

**安宅千恵さん**

あたか・ちえ(74)＝宇出津

長年にわたって高齢者や要援護者の福祉相談・見守り活動を行ってきた安宅千恵さんが、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

19日に持木町長へ報告に訪れた安宅さんは「支えてくれた皆さんのおかげです。お年寄りとお話することで、自分も教えられることがたくさんありました」と感謝の言葉を述べ、22年間の活動を振り返っていました。



谷本県知事から表彰を受ける天野さん(11月10日、石川県庁で)

能登町秋吉地区アマメハギ保存会

**石川県文化功労賞**

**天野 登さん**

あまの・のぼる(76)＝秋吉

「秋吉地区アマメハギ保存会」会長の天野登さんが11月10日、石川県文化功労賞を受賞しました。

国の重要無形民俗文化財に指定される「能登のアマメハギ」の保存伝承に長年取り組んできた天野さん。「個人ではなく、アマメハギを大切にしてくれている地区全体でいただいた賞。今後も無理をしないで楽しく続けていきたい」と話していました。

**石川地域づくり表彰(団体部門)**  
優秀賞

特定非営利活動法人

**のとキリシマツツジの郷**

住民主体の地域づくりをたてる「石川地域づくり表彰」の団体部門で、NPO法人「のとキリシマツツジの郷(宮本康一理事長)」が優秀賞を受賞。11月22日、持木町長に報告しました。

のとキリシマツツジの保護と魅力発信に取り組む宮本理事長は「町花という誇りを持って活動してきたことが認められてうれしい。町民と一緒に喜びたい」と笑顔を見せていました。



受賞を報告する宮本理事長(中央)と福池副理事長(11月22日、能都庁舎で)



持木町長に受章の報告と今後の抱負を語る山岸さん(12月9日、能都庁舎で)

公益社団法人大日本農会 農事功績表彰

りよくはくじゅうこうしょう  
**緑白綬有功章**

**山岸政盛さん**

やまぎし・まさもり(75)＝合鹿

りんごや柿などの果樹園を営む山岸政盛さんが、県内で4年ぶり、能登町で3人目となる大日本農会(総裁・桂宮宣仁親王)の緑白綬有功章を受章しました。

国営農地開発地での果樹経営の確立や地域農業発展への貢献が認められた山岸さんは「長年農業に従事してきた成果だと思っと思っています。これからも命の続く限り農業の発展に尽力したい」と話しました。



山根敏秀さんがふるさと納税  
**ふるさとへの思いを形で伝える**

上町出身で金沢市内で税理士法人を営んでいる山根敏秀さんが11月25日、持木町長に能登町ふるさと応援寄附を手渡しました。

租税教室の講師として全国を訪れる山根さんは、各地で能登町のPRも併せて行っています。町で作成した世界農業遺産のポスターの写真を見ながら、「自分が育ってきた何気ない風景が世界農業遺産であることがうれしい。今後もふるさと納税を続けて、能登町を応援していきたい」と話し、はざ架けの思い出などを話しました。



持木町長と意見を交わす山根さん

寸劇を披露する老人保健ビジター会の皆さん



認知症講演会  
**高齢者を見守る地域ネットワーク**

能登町地域包括支援センターが主催する認知症講演会は12月10日、能都庁舎で開催され、約200人が寸劇や講演を通じて認知症への理解を深めました。

高齢者へのボランティアや見守り活動をしている能登町老人保健ビジター会の9人が「みんなで支えあって」と題して寸劇を披露。高齢者を孤立させないで地域で支え合おうと呼び掛けました。

引き続き公立能登総合病院精神センター長の平松茂さんが講演。認知症の症状や予防法などについて解説しました。

会場全体にリコーダーの音色を響かせる生徒ら



音楽の集い  
**129人の心を一つにして合唱**

町内の中学1年生が一堂に会して合唱や合奏をする音楽の集いが11月24日、能都庁舎で行われました。少人数では味わえない合唱・合奏を体験し、音楽に親しむことを目的に能登町学校教育研究会が主催。7回目となる今年も町内5中学校から129人の生徒が集まりました。

生徒らは全員で「マイ・バラード」を合唱しハーモニーを響かせたあと、アルトリコーダーでの合奏と手拍子での合奏を披露しました。また、招待演奏として箏演奏家の玉城雅楽祥さんと声楽家の方行美幸さんの演奏を鑑賞しました。

松波城下歴町商店街開館  
**城下町松波の歴史を地域で発信**

かつて松波城の城下町として発展した松波地区の商店街の一部などを利用したミニ博物館5カ所が12月7日に開館しました。「歴史文化」資産の保存活用を考える会が「松波城下歴町商店街」と銘打って企画。ミニ博物館では、古文書や地元に伝わる謎掛け問答、松波飴など城下町松波の歴史と文化が紹介されています。

11日には、内浦福祉センターで公開座談会「松波城とまちづくり」が開かれ、関係者らが今後のまちづくりについて議論しました。



▲座談会では城下町の歴史や文化をまちづくりにどう生かすか話し合われた



◀ミニ博物館で古文書について解説する「考える会」事務局の中與七郎さん(左)

能登海洋深層水協議会が震災支援活動  
**相馬市に能登の味覚を届ける**

能登町と能登海洋深層水協議会は12月4日、福島県相馬市で震災支援活動を行いました。相馬市は、能登町の友好都市である千葉県流山市の姉妹都市。震災直後にも支援物資を送り、今回が2回目の支援となります。

会場では、いかつみれ深層水大鍋・おはぎ・能登寒ぶりの刺身・深層水ペットボトルを無料配布。「JAおくのといち」から提供を受けた野菜の売り上げは、全て相馬市へ寄付されました。

能登の味覚を堪能した来場者からは「復興したら必ず能登へ美味しい魚を食べに行きます」という声が聞かれました。



寒ぶりをその場でさばき刺身を提供

ペーパーグライダー大会  
**大場飛行士のように夢をつかめ**

子ども会連合会が主催する「子ども大会」。今年は秋吉出身で奥能登初のパイロット、大場飛行士にちなんでペーパーグライダー大会が開催されました。12月11日、子どもや保護者など約50人が内浦運動公園に集まり、グライダー作りに挑戦しました。組み立ては、秋吉地区で活動する「大場飛行士の偉業を称える会」の皆さんが指導。内浦体育館での競技では、幼児から大人まで3部門に分かれてグライダーを飛ばし、その滞空時間を競いました。各部門の優勝は、幼児・山本煌大さん、小中学生・山崎直哉さん、保護者・能登俊信さんでした。



ゴムを引いてグライダーを飛ばす児童

「能登町一チン」を手に巡回する持木町長と寺西署長



能登警察署年末特別警戒取り締まり  
**能登町一チン部隊が取り締まり**

能登警察署の年末特別警戒パトロールが、12月14日に実施され、町内の防犯、交通安全関係団体の役員ら約20人が宇出津地区を巡回しました。持木町長と寺西署長は、防犯キャラクター「能登町一チン」を手にパトロール。「能登町一チン」は、10月に能登署が主催した防犯キャラクターコンテストの最優秀作品で、高森駿君(鶴川小4年)のアイデアを「ほーす君」の作者でもある窪田ますみさんが約2週間かけて忠実に再現しました。



▲能登町一チン

まちの出来事